

弦楽器の基礎知識

楽器の取り扱いについて最重要項目

1) ニスのトラブル

量産品の安い楽器などは比較的丈夫ですが、イタリア製の楽器などは柔らかく傷みやすいニスが使われています。楽器の保護だけで現代の家具などに使われているような堅いニスを使用するとガラスのような耳障りな音になるため、従来の伝統的な柔らかいニスが使われます。

家具と同様にごしごし磨くとニスに傷が付いたりニス自体がはげていったりします。洗剤やアルコールは決して使わないでください。

熱にも弱く車内においておいたりすると、ニスが柔らかくなりケースにくっついたり表面が汚くなったりすることもあります。たとえ春や秋でも車の中は赤外線効果で熱せられるので、車内に楽器を放置することは禁物です。

2) 掃除の仕方。

綿100パーセントの布(使い古しの切れ端などでも十分です。新品はのりなどが付いているので好ましくないことがあります)を2枚用意していただいて、1枚は駒の周りなど松ヤニ拭き専用に使ってください。そして頻りに新しいのに変えてください、松ヤニ汚れをきれいに洗い落とすことは困難です。そして楽器本体は松ヤニで汚れていない布を使用してください。

楽器磨きように市販されている液体等はおすすめしていません。理由は当店サイト (<http://violinshop.co.jp/>) の弦楽器の基礎知識よりニスのページにて、詳細に説明しています。

3) 駒のトラブル

駒は弦の圧力だけでたってます。調弦を繰り返すことにより少しずつ傾いていきます。

頻りに傾きをなおしていないと駒が曲がってしまいます。放置すると最悪駒が倒れたショックで楽器にひびが入ることがあります。下の図のように正しい角度で立っているかこまめにチェックしてください。特にゆるんだ糸巻きを締め直したときは例外なく駒の調整が必要です。

